

# 第2期北区地域福祉計画の中間評価

(令和2年度～令和6年度)

～「気にかける地域づくり」にむけて～

令和4年11月

北区役所

# 第2期大阪市北区地域福祉計画

## 基本理念

## 人と人とのつながりと支え合いのまち北区

～変化する社会に適応した地域づくりをめざして～

## 大切にしたい視点

### 6つの視点

① 気にかける地域づくり

だれもが「受け手」であり「担い手」

多様性を理解し共生する地域

だれもがつながるまち

団体（地域）や組織の強みや特性を生かした交流や連携

ふくしの学びから生まれた場づくり

## 取り組みの柱

### 3つの柱

- 【1】 地域でつながり支え合う活動の支援
- 【2】 “きめ細かい”相談・支援の充実
- 【3】 ふくしのまなび

## 地域をとりまく諸課題と支えあう地域づくり

- 【1】 地域でつながり支え合う活動の支援
- 【2】 “きめ細かい”相談・支援の充実

◆専門的な知識を持った人材や地域の身近な相談窓口を各地域等に配置。

各種相談および訪問相談を実施

◆単身高齢者や認知症高齢者、重度障がい者などの要援護者、「8050問題」※など、地域で孤立しがちな人への支援と見守り



※「8050問題」とは  
引きこもりの若者が存在していたがこれが長期化すれば親も高齢となり、収入に関してや介護に関してなどの問題が発生するようになり、80代の親と50代の子の親子関係での問題



### 住民主体の福祉コミュニティづくり推進事業

◎専門的な知識を持ったコミュニティソーシャルワーカー（CSW）

令和4年度 2名配置

◎地域の身近な相談窓口である地域福祉コーディネーター（Co）

地域集会所を拠点として16地域16名配置

### 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

◎地域の見守り活動への支援

◎孤立世帯等への専門職による対応

令和4年度 3名配置【見守り相談室管理者(SV)1名含】

# 地域福祉計画の推進

- 【1】地域でつながり支え合う活動の支援
- 【2】“きめ細かい”相談・支援の充実

## ◆相談支援の充実

専門的な知識を持った職員による地域での各種相談および訪問相談を実施

・相談件数17,908件

(前年比+2,375件)



◆はつらつ脳活性化事業として、いきいき百歳体操や、はつらつ脳活性化教室を各地域で実施(認知症予防プログラムを地域と協働してできるように市民啓発、サポーター育成を実施)

・「いきいき百歳体操」

開催個所数

令和3年度実績 23か所



◆喫茶・会食サービス等の取組みを、コロナ禍において工夫を重ね各地域が配食サービスなどを実施



◆『大阪北区ジシン本』風水害編「台風がキタ!」を活用し、高齢者の方でも分かりやすい動画の作成

令和4年度に各地域で放映



# 地域福祉計画の推進

【1】 地域でつながり支え合う活動の支援  
【3】 ふくしのまなび

◆障がい者の社会参加と自立促進を目的に、障がい者支援事業所で作成された生地加工品（マスク・エコバッグなど）の販売を区役所敷地内で実施

◆就労系障がい福祉サービスを周知



◆中学生を対象に障がい者理解を目的に障がい当事者と協働し福祉教育を実施  
・実施回数

11回598名



◆障がいのある方への理解・交流と地域社会への参加を進めることをめざし、北区障がい者自立支援協議会とともに、障がいのある方と健常者がともに参加する「ユニバーサルスポーツ」の取組みの推進



◆障がいのある子どもや、世帯に課題のあるこどもたちを対象にした日帰り農業収穫体験等を開催（地域活性化事業）



# 【北区障がい者スポーツイベント「ゆるっとふわっと みんなでスポーツしよう!」を開催】

日時:令和5年3月4日(土)13:00~14:30

場所:北スポーツセンター

内容:「ボッチャ」「スリーアイズ」「ふうせんバレー」「からだづくり運動」など

人数:区内障がい児支援施設などから、児童、保護者等を含む約70名・スタッフ約30名参加



# 地域福祉計画の推進

- 【1】地域でつながり支え合う活動の支援
- 【2】“きめ細かい”相談・支援の充実

◆北区社会福祉協議会と企業の連携により、各家庭で使い切れない未使用食品や日用品を持ち寄り、地域の福祉施設・団体などに寄贈（フードドライブ・日用品ドライブ）

- ・フードパントリー年6回(7日間)開催 参加世帯のべ150世帯 参加人数のべ102名
- ・ファミマフードドライブ協力店舗 2店舗(R4.9月現在)

4・5月合わせて、  
計96個というたくさんのご支援をいただきました★



「もったいない」を「ありがとう」につなげて  
＊笑顔の花を咲かせよう＊

たくさんのご寄付ありがとうございました♪  
ご寄付していただいた食品は、支援が必要な方々にお届けしていきます。



◆北区社会福祉協議会および区内企業と連携し、区内の「こども食堂」活動への協力、生活に困窮されている家庭への支援やさまざまな居場所づくりを支援



◆北区生活困窮者支援会議による生活困窮者の自立支援相談

◆「よりそい」サポートによる自立支援相談

- ・R3 相談実績 新規297件 継続50件



## 切れ目のない支援で子どもの笑顔を守る【子育てぷらっとほーむ事業】

### 乳幼児期から

#### ◆子育て支援ルームKikki運営事業

- ・子育て中の保護者同士の交流や、応援相談員が常駐し子育て支援施設や地域の子育てサロン等にも参加するきっかけをサポート



#### (例) 子育て支援施設での取り組み

- ・乳幼児・親子が自由に遊びに来れる「居場所」づくり
- ・親子で楽しめるイベント(ピラティス大人の教室や子育て講座など)を定期的実施



### 未就学児期

#### ◆保育施設への訪問支援事業

(プレスクールワーカーによる保育施設へのアウトリーチ事業) R4:2人配置

- ・相談件数 345件 ケース実数 621名
- ・幼稚園7園、保育施設等89園ほか



### 就学児期

#### ◆学校への訪問支援事業

(北区スクールソーシャルワーカーによる学校へのアウトリーチ事業) R4:2人配置(計30時間)

- ・中学校5校 小学校11校

#### ◆区内小・中学校への支援(大阪市こどもサポートネット事業との連携)

- ・学校と区役所が連携して教育、保健福祉両面から子育て家庭を支える仕組み



## こどもたちの健全な生活と成長環境を守る【子育てぷらっとほーむ事業】再掲

### ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている

※イラストは、一般社団法人日本ケアラー連盟が作成したケアの一例

### ◆実態調査結果の概要（R3大阪市立中学生徒対象）

・ヤングケアラーの存在割合 9.1%

#### ・ケアを要する家族とその状態及びケアの内容

（ケアの相手）

➡弟・妹、祖母、祖父、母、兄・姉、父等の順に多い

（ケアの内容）

➡話し相手、見守り、きょうだいの世話、家事など

#### ・健康感と学校生活

ケアをしている者の方が、ケアをしていない者と比べて、健康感が低い傾向がみられた。

### ◆学校への訪問支援事業（北区スクールソーシャルワーカーによる学校へのアウトリーチ事業）

・学校や家庭で課題を抱える子どもへの働きかけ

### ◆区内小・中学校への支援（大阪市こどもサポートネット事業との連携）

・専門的な相談先へつないだり、家庭訪問等による寄り添い支援を実施

